

2025 年 4 月号

四万十図書館だより

発行＊四万十市立図書館

春の暖かさが感じられる頃となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今年度も図書館では、市民の皆さまが本に触れあうことができるような様々な行事を予定しています。今月は『ぬいぐるみとしょかんおとまりかい』を開催します。5月以降の行事についても順次、図書館だより・広報・ホームページ・SNS などでお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

→休館日

4 月図書館情報

児童行事

「としょかんでぬいぐるみおとまりかい」

日時 4 月 5 日(土)14:00～15:00

4 月 6 日(日)11:00～12:00

場所 図書館多目的ホール

対象 3 歳～小学 4 年生

※未就学児は保護者同伴

定員 10 人程度

※両日参加可能な方

申込 事前申込制

※詳細はホームページまたはお電話でご確認ください

一般展示

「新生活」

年度の始まる 4 月に、様々なスタートを切る人たちを応援する本を展示しています。

場所：一般展示コーナー

郷土展示

「高知県内で頑張る人たちを 応援しよう」

高知県内の文化・商業・観光施設で働く人や
個人活動で活躍している人たちの資料を
集め、展示しています。

場所：郷土展示コーナー

児童展示

「入園・入学・春」

入園・入学や春をテーマとした本を
展示しています。

場所：児童展示コーナー

文学賞展示

文学賞展示をリニューアル！

芥川賞・直木賞・本屋大賞の展示に
新たに 21 の文学賞を追加しました。

推理小説、歴史時代小説、詩など

さまざまなジャンルの賞を展示しています。

場所：文学賞展示コーナー



新着本紹介



小説	『ブレイクショットの軌跡』 逢坂 冬馬
『移動そのもの』 井戸川 射子	『亡霊の鳥』 阿部 智里
『伊根の龍神』 島田 莊司	『マチルダによろしく』 福澤 徹三
『受け手のいない祈り』 朝比奈 秋	『リストランテ・ヴァンピーリ』 二礼 樹
『氏家京太郎、奔る』 中山 七里	エッセイ
『腕が鳴る』 桂 望実	『百一歳。終着駅のその先へ』 佐藤 愛子
『オール電化・雨月物語』 青柳 碧人	『マリコにもほどがある!』 林 真理子
『歌舞伎町ララバイ』 染井 為人	『よりそう言葉』 五木 寛之
『曇りなく常に良く』 井戸川 射子	手記・ルポルタージュ
『匣真演義』 矢野 隆	『抗がん剤を使わなかった夫』 倉田 真由美
『午前零時の評議室』 衣刀 信吾	『「不」自由でなにがわるい』 今村 美都
『松籟邸の隣人 2』 宮本 昌孝	外国文学
『戦国転生同窓会』 織守 きょうや	『世界の終わりの最後の殺人』 スチュアート・タートン
『潮音 第3巻』 宮本 輝	『鳥の心臓の夏』 ヴィクトリア・ロイド＝バーロウ
『天狼』 今野 敏	郷土
『灯火』 本城 雅人	『愛と勇気とアンパンマンの言葉』 小川 仁志

読書・出版	医学
『ライターとして生きていく』 中村 昌弘	『それでも、安楽死の話をするのなら』 西 智弘
歴史・地理	『皮膚トラブルの治し方大全』 生垣 英之
『一冊でつかむ古代史と豪族』 瀧音 能之	生活
『昭和100年地図帳』 平凡社	『せいろレシピ』 サヤ
『世界の墓地』 アラステア・ホーン	『野草とハーブのレシピ』 農山漁村文化協会
社会・政治	『わたしたちの歳時記』 杉浦 さやか
『異邦人のロンドン』 園部 哲	産業
『移民リスク』 三好 範英	『ブラック郵便局』 宮崎 拓朗
『図解よくわかる地方自治のしくみ』 今井 照	芸術・芸能・趣味
法律	『タクトは踊る』 中丸 美繪
『新しい民法がわかる本』 太田 雅幸 他	『ふりかえれば日々良日』 佐久間 良子
『労働安全衛生法のしくみ』 林 智之	『44の茶箱あそび』 多田 けい子
教育	言語・語学
『シン読解力』 新井 紀子	『いい音がする文章』 高橋 久美子

四万十市立図書館 利用案内

四万十市中村大橋通 4-10 ☎ 0880-35-2923

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など

貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(2週間)

定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日10時20分～／場所：おはなしの部屋)

※夕方・土日祝日駐車レーンを確保しています(守衛棟北側縦列駐車3台分)